

新大

キャンパスライフをもっと豊かに

広報

| 特集 | 卒業生・修了生からのメッセージ

輝く未来への出発点

～新潟大学での学びを未来に活かして～

学長からのメッセージ 新潟大学長 牛木 辰男



No.221

[2022年 卒業記念号]



真の強さを学ぶ。

新潟大学
NIIGATA UNIVERSITY

卒業生、修了生の皆さん、卒業、修了まことにめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

新型コロナウイルス感染症 COVID-19のパンデミック(世界大流行)が始まってから3年目。皆さんは、コロナ禍のさまざまな制約のなかでの大学生活を送るようになりました。

授業はオンラインを基本とした非対面式が主体となり、級友に会う機会の少ない2年間だったと思います。課外活動においても、大会の参加が制限されるなど、苦しい思いをしてきたことでしょう。のびのびとした大学生活を皆さんに送っていただけないまま卒業、修了の日を迎えることは、大変残念ですし、また申し訳なく思います。

しかし、皆さんがコロナ禍に大学生活を送ったことは、必ずや皆さんの将来に役立つものと信じています。

コロナ禍で社会は大きく変わりました。また、コロナ禍が社会の変革に

拍車をかけています。このコロナ後の新しい時代を生き抜くことができるのは皆さんです。

コロナはやがて必ず収束します。その時に見えてくる新しい時代を、コロナ禍に暮らし、コロナ禍に耐え、コロナ禍で考え、コロナ禍を乗り切った皆さんに切り拓いていつてももらいたいと願っています。そして、特に、新潟大学を巣立つ皆さんには、新潟大学の理念「自律と創生」を胸に、コロナ後に広がる未来のフロントランナーとして活躍してもらうことを大いに期待しています。

柳の枝のようなしなやかで折れない「真の強さ」をもった人材に育ってくれた皆さん。

新潟大学は皆さんの母校です。ここで学んだ誇りをもって、未来への一歩を踏み出してください。新潟大学は卒業後、修了後も皆さんとの絆を大切に、皆さんを応援します。

皆さんの未来に幸多きことを！

コロナ禍に生きた力を 未来に活かす

新潟大学長

牛本 龍男



｜特集｜卒業生・修了生からのメッセージ

輝く未来への出発点

～新潟大学での学びを未来に活かして～

卒業生・修了生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

新潟大学での学生生活はどんなものだったでしょうか？

たくさんの学びや出会いがあったと思います。

楽しかったこと、嬉しかったこと、大変だったこと…。

みなさんが学生生活で最も印象に残っていることや、

卒業後の進路選択について教えてください！

教育学部

学校教員養成課程

河内 公平 KAWACHI Kohei

私は人に恵まれたことが最も印象に残っています。同じ高校から新潟大学に進学する友人はおらず、不安でいっぱいスタートとなりましたが、時間が経つにつれ、学部、学年を問わずたくさんの心からの友人ができました。辛い実習、採用試験を乗り越えることができたのは、共に頑張る友達が近くにくれたからだと思います。そんな、過ぎ去った普通の日々がかけがえのないものであったことを今になって実感しています。さよならに強くなり、過去よりも未来はもっと眩しいものであると信じてこれから歩んでいきます。



これからの決意表明

4月から私は東京都の小学校教員として子どもたちの成長に関わっていきます。新潟県で教員になる方、地元に戻り教員になる方、教員以外の道を選択した方、環境は違えど、教育学部の同期として共に頑張りましょう。



人文学部

人文学科

坂 颯一郎 SAKA Soichiro

学生生活で最も印象に残っていることはゼミの活動として北海道に行ったことです。自分の興味があるテーマを設定して実地調査に赴くことは、高校生までには経験できないものでした。初めての実地調査で何をやらたらよいかわからなくても先生や先輩がアドバイスを下さり、満足して新潟に帰ってくることができました。一度経験を積んだことで二度目の調査はスムーズに行うことができ、自身の成長を感じることができました。



これからの決意表明

社会人となっても4年間で学んだことを活かし、学び続ける心もちたいです。得た知識を応用して置かれた環境に適応できる人間になることを目標に、自分を見つめながら努力していきます。



工学部

工学科

江守 真生子 EMORI Makiko

大学2年生の夏に、カンボジアで行われたインターンシップに参加したことです。市場調査を通して課題を見つけ、アイデアを出し合い、解決策をプレゼンしました。バックグラウンドの異なる者同士のグループワークでは、すれ違いが生じることが多くありましたが、この経験を通して言語化能力や行動力を身につけることができました。英語が流暢でない私にとって、この挑戦は日々学びがあり、学生生活の中で最も密度の濃い時間になりました。



これからの決意表明



より研究に打ち込むために、春から新潟大学の大学院に進学します。専門分野の知識を深めるのはもちろん、様々なことに興味を持ち、挑戦する2年間にします。

医学部

保健学科

森田 夏帆 MORITA Kaho

学生生活で最も印象に残っていることは4年次に病院での実習や卒業研究に取り組んだことです。実習では自分の知識不足を痛感する日々でしたが、患者さんへの対応など座学では学ぶことのできない貴重な経験をさせていただきました。卒業研究は実習や就活と並行して行っていたため忙しい中でしたが、研究室の仲間と協力し、やり遂げることができました。4年次はとても成長できた1年だと感じています。



これからの決意表明



卒業後は地元の病院で診療放射線技師として働きます。新潟大学で学んだことを大切に、患者さんや他の医療従事者の方から信頼してもらえるような診療放射線技師を目指して日々精進していきたいと思います。

理学部

理学科

杉原 万彩 SUGIHARA Maaya

大学生活で最も多くの思い出を共にしたのは、新潟大学合唱団の仲間です。経験も考え方も違う様々な人々と互いを尊重しながら切磋琢磨し、人として成長できたことを実感しています。音楽や人との一つ一つの出会いを大切にできる温かい人たちに囲まれ、自分もそのサウンドの一部であると感じたときの誇らしくて幸せな気持ちは忘れられません。卒団後も、後輩たちと一緒に歌った仲間の活躍を耳にすることが、背中を押してくれると確信しています。



これからの決意表明



卒業後は大学院に進学します。あと少しで社会人になる者としての自覚をもちつつ、2年間、学びに集中できる期間を与えられたことに感謝し、向上心をもって研究活動に取り組みたいです。

法学部

法学科

佐藤 楓子 SATO Fuko

私が学生生活において印象に残っていることは海外研修です。研修期間が充実していたことはもちろんですが、それ以上に、新たな価値観に触れたことで、自身の考え方が変化しました。帰国後は多くのことに挑戦できるようになり、新たな人とのつながりも生まれました。このような経験から、海外研修の参加という小さな決断が、自分の世界を大きく広げ、成長させてくれることを学びました。この学びは、これからの私にとってかけがえのない財産になると思います。



これからの決意表明



この4年間で多くの方から、様々な事を学ばせて頂きました。これからは、感謝の思いを忘れず、大学生活で得ることができた考え方や学びを糧にし、少しでも多くの方に頼られる社会人になれるよう、精進していきます。

農学部

農学科

富山 早紀 TOMIYAMA Saki

最も印象に残っていることは、4年生からの研究活動です。私の所属する醸造健康学研究室は、新設の研究室であったため、一期生として入りました。実験への苦手意識が強い私ですが、先生方による丁寧な指導のもと、日々四苦八苦しつつも研究に対する向き合い方が徐々に変化していききました。やりたいと思っていた清酒造りも行うことができ、学びの多い有意義な時間を過ごせたと感じています。



これからの決意表明



4月からは新潟大学の大学院に進学します。いまだ未熟で将来に対し不安を抱えていますが、周りの方々への感謝の気持ちを忘れずに、自分自身も成長していければと思います。

歯学部

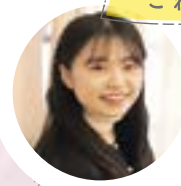
歯学科

吉田 麻莉 YOSHIDA Mari

5、6年次の臨床実習では、実際に患者さんを担当させてもらい治療を行いました。長時間の診療に協力して下さる患者さんの存在や先生方の手厚い指導の下で多くの学びを得られ、一生の財産となりました。治療を行うだけでなく、それ以前の診断や患者さんに応じた治療計画立案の過程が大切であることを学びました。また、臨床の奥深さや学ぶことの楽しさを知ることができ、将来の選択肢が広がりました。



これからの決意表明



4月からは関東の大学病院で歯科研修医として働きます。患者さんに寄り添い、信頼される歯科医師になれるよう、まずは土台をしっかりと固め、日々研鑽を積みみたいです。

医学部

医学科

安東 奈於 ANDO Nao

沖縄育ちの私が一人暮らしを始め、家族、友人に支えられて新潟の寒い冬を乗り切り、なんとか卒業までたどり着けたことです。食事は大変美味しく、特にお米は格別でした。また、5～6年次にかけての臨床実習ではコロナ禍の制約の中、先生や医療スタッフ、患者さんのご協力のおかげで無事行うことができ、感謝の気持ちでいっぱいです。感染対策という医療の基本を、緊張感を持って体験することができました。



これからの決意表明



「医学を通して人類の幸福に貢献する」という理念の下、関連する多様な分野に情報を発信し活躍できるよう日々精進します。また、頭でっかちにならず、百聞は一見に如かずをモットーに行動できる魅力ある人物になります。

経済学部

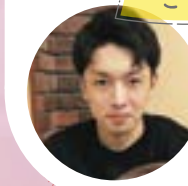
経済学科

藤田 陸斗 FUJITA Rikuto

ゼミ活動です。2年生のときにERINAというプレゼン大会に出場し、優勝しました。約7か月に及ぶ準備期間の中で、300人以上の学生に独自のアンケートを実施し、集計に励みました。そして数多くの協議を重ねました。これまで大規模なアンケートを実施した経験がなかったため、とても印象に残っています。当時は、先輩方の後を追いかけることで精一杯でしたが、その後の就活へ向けて成長できる非常に良い経験となりました。



これからの決意表明



春から地元の企業に就職します。新社会人として不安な部分もありますが、新たな出会いを大切に楽しんでいきたいです。現在取り組んでいる英語学習を地道に進め、社会における自分の価値を高めていきたいです。

医歯学総合研究科

博士課程 口腔生命科学専攻
笠原 映 KASAHARA Aki

私が所属する口腔外科はチーム医療を大切にしています。一番の思い出は毎年夏に医局の方々と行ったキャンプです。テントの設営や食事の準備、翌日に行ったラフティングなど、キャンプ中は皆との協力が必要となる活動がほとんどでした。日頃の臨床・研究活動でも、自分1人では解決できなくても周りの方々が助けてくれ、乗り越えられたことがたくさんありました。キャンプを通じ、チームワークの大切さに気付くことができました。



これからの決意表明

大学院生活では勉強だけでなく、チームワークやコミュニケーションの大切さを学びました。患者さんに寄り添える歯科医師になれるよう日々精進していきたいと思っています。



保健学研究科

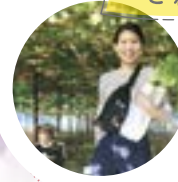
博士前期課程 保健学専攻
大賀 有佳子 OGA Yukako

大学院での経験は、看護職向け遺伝看護オンライン講演会の企画・運営や、難病看護を学ぶ院生で難病看護ケア研究会の立ち上げ、自作自演の遺伝相談の事例ビデオの作成、新潟難病相談支援センターと協働、Web国際学会での発表と研究者との交流など、すべて「初めて」への挑戦でした。2年間という短い期間でしたが、様々な「初めて」を経験できたことが私の糧になりました。貴重な機会を下さった指導教授、院生に感謝しています。



これからの決意表明

修了後は福岡の病院に戻り遺伝看護専門看護師を目指します。学位論文のテーマとした遺伝性難病(シャルコー・マリー・トゥース病)の看護を極め遺伝看護の均てん化に貢献したいと思っています。



現代社会文化研究科

博士後期課程 人間形成研究専攻
亀岡 雅紀 KAMEOKA Maki

ひたすらに笑って駆け抜けた学生生活だったと感じています。それができたのは、これまで出会って下さった皆さんのおかげです(もちろん、辛い時もありましたが!笑)。保育園の子どもから、健康教室に通うお年頃(高齢者)の皆さんまで、様々な方々と繋がる経験が私の力になりました!また、夜の雪山に登ろう!とか山手線を一周歩こう!とか、学会準備で夜が明けるだとか、おバカなことから真面目な場面まで、共に過ごしてくれたかけがえのない村山研究室のみんなに感謝感謝です!



これからの決意表明

これまで多くの皆さんにお世話になった分、私も皆さんへ心配りをしていきたいです。祖母の口癖、「情けは人の為ならず」。今、身にしみて感じています。人生あと100年。ひたすらに笑って、ぼっくりいけたら本望です! 笑



創生学部

創生学修課程
中村 奈於 NAKAMURA Nao

卒業論文は、私の大学生活4年間の集大成でした。愛してやまないサッカーを題材として、PythonとGoogle Cloud Platformを用いたデータ収集用のツールを自作し、Rを用いた統計分析を行いました。自身の専門領域科目である経営学をはじめとして、情報工学、社会心理学といった3分野の学習を同時並行で行っていたため、体力的にも精神的にも大変な4年間でしたが、今振り返ると、自由度の高い創生学部ならではの充実した学びだったと感じています。



これからの決意表明

卒業後は、ゼネコンの管理部門に勤めます。入社後は、総務・人事・経理といった幅広い業務に携わることになるので、学生時代に培った多角的な視点、そして持ち前のハングリー精神を忘れずに精進します。



自然科学研究科

博士前期課程 環境科学専攻
坂本 律 SAKAMOTO Toru

大気・海洋のデータを取得するために行った研究船での太平洋航海観測が印象に残っています。他大学の方々と協力しながら自分たちの手でデータを取得し、そのデータを見て議論をするあの瞬間は確かに研究の最前線でした。観測中には周囲の海と空の雄大さに心を打たれ、研究の対象である「自然」がデータではなくそこに存在することに感動しました。コロナ禍で外部の方と交流する機会がなかったこともあり貴重な体験となりました。



これからの決意表明

春からは博士後期課程に進学し、気象学の研究を続けます。学会発表や航海観測に積極的に参加し、研究者としても人間としても成長できるよう努めたいと考えています。



教育実践学研究科

教育実践開発専攻(教職大学院)
宮本 俊 MIYAMOTO Syun

2年前に入学した私は、いわゆる「コロナ世代」です。PC画面と向き合いながら、学習をしてきました。それでも、対面による課題研究や同じコースの院生との自主的な勉強会により、「人とのつながりの良さ」を改めて実感しました。これまでと違う「非日常」でも、人とのつながりによって学びを深められたことが、2年間で印象に残りました。



これからの決意表明

教職大学院での学び直しは、私の教育への見方を「自分の学級だけを見ればよい」から「学校全体を見渡す」へと広げてくれました。広がった見方を存分に発揮できるよう、今後も研鑽に励んでいきます。



Q1 学生生活で最も印象に残っていることを教えてください。

医学部

保健学科

菊池 瑛里 KIKUCHI Eri

私は、病気の早期発見によって患者さんを救うことに貢献したいと考え、臨床検査技師を目指しました。大学で臨床検査について勉強するうちに、検査は病気の発見だけでなく、適切な治療の決定や経過観察にも重要な役割を担っているとわかり、検査技師として病院で働こうと考えようになりました。就職先の病院を決めた理由は、実際に病院見学をさせていただき、連携をとりながら検査を行う姿に感銘を受け、私も一緒に働きたいと思ったからです。



これからの決意表明



卒業後は、地元である茨城県の病院で臨床検査技師として勤務します。新潟大学で学んだことを活かして、日々、検査の知識や技術の習得に努め、正確で迅速な検査ができるようになりたいと思います。

理学部

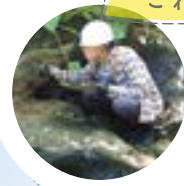
地質科学科

神田 亮 KANDA Ryo

私は、春から新潟大学大学院自然科学研究科に進学しますがこの進路を決定したきっかけは、卒業研究をさらに発展させたいと思ったからです。卒業研究では、古い時代の放散虫についてその形態や種類などから進化や絶滅過程について検討をしました。研究を進める中で放散虫の幾何学的な形態の面白さなどに魅力を感じ、さらに多くの放散虫について研究を進めてみたいと思い、大学院進学という選択をしました。



これからの決意表明



春からは、新潟大学の大学院に進学するので学部で学んだ経験を活かしつつ、新たな知識や考え方を身につけられるように日々の授業・研究に取り組んでいきたいと思っています。

歯学部

口腔生命福祉学科

阿部 京華 ABE Kyoka

卒業後は新潟市内の歯科診療所で歯科衛生士として働くことになりました。大学では、歯科と福祉の分野を学びましたが、歯科の勉強をしていく中で、口腔の健康は全身の健康と深く関わっていることを学び、口腔の健康づくりから多くの人の健康に寄与したいと感じるようになりました。歯科診療所では、福祉で学んだ知識も生かしながら、直接的に患者さんの健康に携わることができると考えたため、この進路を選択しました。



これからの決意表明



患者一人ひとりに寄り添いながら、患者自身の健康について歯科、福祉の視点から総合的に考えることで、より良い医療を提供し、信頼される歯科衛生士になりたいです。

医学部

医学科

岩下 広樹 IWASHITA Hiroki

私が卒後の進路を決めたきっかけは、6年次の臨床実習です。実習では外来での問診や日々のカルテ記載など、学生では中々経験できない事柄を数多く経験させていただきました。1ヶ月間という短い期間でしたが、中でも自身の成長を大きく実感できたことが進路選択の決め手となりました。恵まれた環境を存分に活用し、さらなる成長を遂げられるよう2年間の初期研修に励みたいと思います。



これからの決意表明



子どもから保護者の方まで、この先生なら安心して任せられると思ってもらえるような小児科医が私の目指す医師像です。目標に向けて貪欲に学び、昨日の自分を少しでも超えていけるよう日々精進したいと考えています。

法学部

法学科

西田 楓人 NISHIDA Futo

私は、今年度、新潟大学法学部を卒業し、来年度は、法曹資格を得るために司法試験を受験します。このような進路を選択したきっかけは東日本大震災での被災経験です。震災で多くの方に支援をいただき、私は人を助けることができる職業に就きたいと考え、法曹を志しました。将来は、一人ひとりの悩みに寄り添い、多くの人から感謝されるような弁護士になりたいと思っています。新潟大学での学びを活かして頑張ります。



これからの決意表明



司法試験を受験するためには、本来は法科大学院の卒業が必要ですが、私は、今年度司法試験予備試験に合格し、受験資格を得ることができました。自分の夢を叶えるため、合格を目指して頑張ります。

経済学部

経営学科

中村 すみれ NAKAMURA Sumire

私は就職活動を行う中で、将来、地域社会の発展に貢献できる仕事がしたいと思うようになりました。具体的に、地域貢献のためには人々の生活の基盤となる財政面を支える事、企業への融資などのサポートが必要だと考え、それを実行できる金融業に魅力を感じ、目指すことを決めました。金融業の中でも、銀行、特に地方銀行を志望した理由は、より地域に根ざした手厚いサポートが実現できると考えたからです。



これからの決意表明



卒業後は、地域社会で金融の主導的な役割を果たしていく中で、地域の発展に貢献し、人々の期待や信頼に応えていきたいです。地域に密着し、地元から愛される存在となれるよう尽くしたいです。

人文学部

人文学科

高野 恭子 TAKANO Kyoko

私は地元で貢献できる人になるために、一度地元を離れて俯瞰したいと思い新潟大学に入学しました。授業では新潟独自の話題を取り扱うものも多く、また様々な価値観をもつ人と出会い、物事を多角的に考えられるようになりました。そして改めて地元でいたいことを見つけるきっかけになりました。4月からは地元を支え、発展させることに貢献できる企業に就職します。大学での学びを活かし様々なことに挑戦していきたいです。



これからの決意表明



大学では当たり前のことをただ当たり前として通り過ぎるのではなく、なぜそれが当たり前なのかを考えるようになりました。社会人になってからもこの意識を大切にしたいです。

教育学部

学校教員養成課程

齋藤 映見 SAITO Emi

「先生になりたい!」という幼少期の漠然とした夢が具体的な目標になったきっかけは、3年次の小学校での教育実習でした。児童を支え、導く教師の立場の大変さや教えることの難しさを、身をもって知った一方で、児童から学ぶ経験があったり、短期間でも変化を見せる児童の姿を見たりして、教師という職業の魅力を大いに感じました。もっと多くの子どもの成長を間近で見て、一緒に成長していきたい、という思いが芽生え、教員になることを決めました。



これからの決意表明



多様な児童、多様な考え方が存在する中で、児童一人ひとりに最大限寄り添う教師、大学での学びを活かして小学校で課題の多い英語教育を引っ張っていけるような教師を目指し、学び続けていきたいと思っています。

保健学研究科

博士前期課程 保健学専攻
相原 瞳 AIHARA Hitomi

春からは医療機関で臨床検査技師として働きます。血液疾患や免疫機構に関心があり、学部卒業後は大学院に進学して腫瘍免疫についての研究に取り組んできました。研究の楽しさ、奥深さに触れ、研究職の道も進路として魅力的に感じていましたが、医療従事者として活躍したいという幼い頃からの思い、また疾患と向き合う患者さんのため、より患者さんに近いところで仕事がしたいという思いから、臨床での仕事を選択しました。



これからの決意表明



地元である新潟を離れ、新しい環境で新生活がスタートします。生まれ育った土地を離れるのは寂しく感じますが、臨床検査技師として少しでも大きく成長できるよう、日々努力していききたいと思います。

現代社会文化研究科

博士前期課程 現代文化専攻
栗林 稜 KURIBAYASHI Ryo

大学院へ進学してから、様々な方からアドバイスをいただき、進路を考えてきましたが、初年度に参加した学会をきっかけに、進学を決意しました。学会では、多くの研究者が自身の信念のもと、素晴らしい研究をされており、各分野で行われている研究活動の一端に触れることで、今後も研究に携わりたいと強く考えるようになりました。



これからの決意表明



新潟大学で過ごした6年間は、私にとって有意義な時間でした。研究を進めていく中で得た技術や知識、人脈と多様な考え方は、今後の私の人生で大きな力になると確信しています。これからも日々精進していきます。

創生学部

創生学修課程
内山 七海 UCHIYAMA Nanami

私は卒業後、父の会計事務所就職します。元々そのつもりはなく、3年次の夏から就職活動をしていました。何に向いているか、何に興味があるのか自分でもよくわからないまま、焦りと不安で無我夢中に進んでいました。しかし、将来について改めて考えたとき、私が1番大切にしたいのは家族であり、生まれ育った地元で家族を支えたいという気持ちに気づきました。そこで家族と話し合い、父の事務所で働くことを決意しました。



これからの決意表明



私には2つの夢があります。笑いの絶えない家庭を築くことと、いつかカフェを開くことです。これから様々な経験を積んでいくなかで辛いこともあると思いますが、私らしく前向きに一つ一つ乗り越えていきたいです。

工学部

工学科
阿部 寿純 ABE Toshizumi

春から新潟大学の大学院へ進学します。私は小学生のころから研究者に憧れを抱いていたので、入学したときから大学院へ進学することは決めていました。学部生の4年間で振り返ると講義が中心の生活で、受け身の姿勢になってしまうことが多かったように感じます。しかし、研究を進めていくためには積極的に行動し、対話を通じて論理的に課題と向き合う力が必要です。博士前期課程の2年で自分をさらに高めていけるよう精進します。



これからの決意表明



私の座右の銘は「千里の道も一歩から」です。周りの人への感謝を忘れずに困難なことがあっても自己実現へ向けて歩み続けたいと思います。そのために失敗を恐れずにチャレンジを続けていきたいです。

医歯学総合研究科

修士課程 医科学専攻
塩崎 悠香 SHIOZAKI Haruka

工学部を卒業したので、一度自分が開発に関わった機器や技術が社会で役立つ瞬間を見たいと考えて、企業で医療機器の開発に取り組むことにしました。この企業では医歯学総合研究科での経験も活かせると考えています。また、大学の講義で「医療に関わる一つの技術を作ることで、何百、何千という人の命を救うことができる」というお話を医学部の教授がされていたことも、医学と工学の両方の分野に関わりたかった出来事です。



これからの決意表明



医療機器の開発者として働き、本学大学院で研究も続けます。憧れた職業に就くと同時に研究もできるよう協力してくれた多くの人に感謝しています。論文発表、技術開発の両面で社会に役立てるように頑張ります。

自然科学研究科

博士前期課程 生命・食料科学専攻
佐藤 美帆 SATO Miho

修了後は農業技術系の職員として働きます。志望したきっかけは日本の魅力的な農産物を通し農業が抱える課題の解決に貢献したいと思ったことです。私は約3年間、食品の研究室に所属してきました。研究やゼミで日本の農産物について学び、改めて品質の高さを感じました。働く中で産地における生産から国内及び海外流通全体に携わり広い視野を身につけたいと思っています。



これからの決意表明



私は春から全国転動で様々な地域で勤務します。生まれ育った新潟県を出て生活するため少し不安もありますが、日々を大切に、その土地でしかできない経験を積んでいきたいです。

教育実践学研究科

教育実践開発専攻(教職大学院)
高橋 比菜 TAKAHASHI Hina

私が教員を志したきっかけは、学部での教育実習と大学院での通年を通した実習の二つです。これらの実習を通して、児童生徒が日常生活や、行事の中で、成長する姿を実際に見ることができました。また、児童生徒と一緒に授業を創り上げることで私も教員として、人として成長することができました。この経験から、教員という仕事のすばらしさを知ることができました。



これからの決意表明

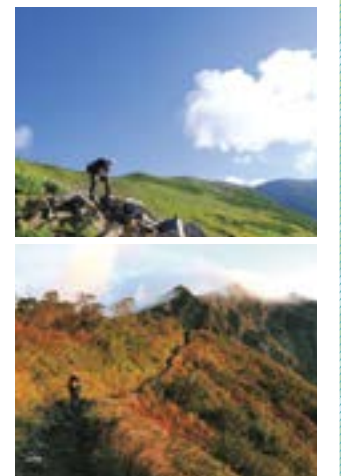


今まで新潟大学で学んだことを糧に、この春から、教員として働くことの喜びを噛み締め、生徒に寄り添える教員になりたいです。そのために、周囲の方々と協力して生徒と関わっていききたいです。

農学部

農学科
橋本 凌 HASHIMOTO Ryo

大学では自然の多い環境に身を置きたいと思い、東京の実家から新潟大学へと進学しました。入学後は山岳部に所属して活動を行い、様々な山に登ることでますます自然が好きになりました。そして、動物と植物両方の研究を行える放牧分野に魅力を感じ、研究室と就職先を決めました。就職先では活動の一つとして放牧の推進事業を行っています。山岳部での経験を活かし、山や森林での放牧を広めていきたいと考えています。



これからの決意表明



大学での経験を糧に活躍し、農業分野の発展に貢献したいと思います。社会に出る不安もありますが、健康を第一に、仕事も山登りも続けていくことが目標です。



新潟大学全学同窓会

全学同窓会白杵勇人会長インタビュー

全学同窓会の活動について、
白杵勇人会長にインタビューしました。



全学同窓会の理念や目標について教えてください。

全学同窓会の目標は、「新潟大学の発展と社会への貢献に資するとともに、会員相互の交流と連携及び親睦を図る」ということです。この目標達成に向けて、会員への情報提供・サービスを充実し、大学の発展・社会貢献を推進して、「会員にとって同窓会の存在が実感できる同窓会づくり」、「母校とそこで学ぶ学生さんを支援できる力量ある同窓会づくり」を目指しているところです。

全学同窓会の活動や事業について教えてください。

広報紙「雪華」の発行、メールマガジンの配信、年に一度「新潟大学・全学同窓会交流会」（新潟大学と共催）の開催、大学との懇談会の開催、「新潟大学カード」（クレジットカード）事業、母校支援事業、学生さんのサークルや活動を支援するための「雪華支援事業」などを行っています。

「雪華支援事業」では、学生さんの活動に年350万円程の支援を行っています。

「新潟大学カード」の収益も学生さんの支援事業に充てています。入会

卒業したら…

新潟大学カードに入会しよう！

新潟大学カードはVISA付きの国際カード

新潟大学カードに関するお問い合わせは…

新潟大学全学同窓会事務局 TEL:025-262-7891

（受付時間 平日10:00～15:00） E-mail:n-doso@adm.niigata-u.ac.jp

入会費・
年会費無料



費・年会費無料のクレジットカードです。皆様方にも卒業を機に是非ともご入会いただきたいと思います。

学生、卒業生に一言お願いいたします。

母校が教育・研究の実を挙げ、母校の評価が一層高まることは、同窓生みんなの願いです。何よりも教職員、学生の皆様のご努力・ご活躍に期待しますが、同窓生一人一人がそれぞれの社会でご活躍され、同窓会活動にご支援・ご協力いただき、さらに母校と学生さんを力強く応援していきたいと思っています。コロナ禍の中、卒業生の皆様にとっては本当に辛く苦しい一年になったことと思います。ピンチをチャンスに変えて卒業される皆様の前途に幸多かれと祈り、ますますのご健勝とご活躍をご祈念申し上げます。

【新潟大学全学同窓会HP】 <https://www.niigata-u-dousou.jp/>

【新潟大学全学同窓会事務局】

TEL:025-262-7891（受付時間 平日10:00～15:00） FAX:025-262-7892

E-mail:dosojimu@adm.niigata-u.ac.jp

ご寄附とご協力をお願い

新潟大学まなび応援基金

目的

「輝け未来!! 新潟大学入学応援奨学金」をはじめ、経済的理由により修学が困難な学生に対する修学支援事業を行います。

■支援事業（支援事業を指定してのご寄附はできません。）

- 輝け未来!! 新潟大学入学応援奨学金
- 新潟大学大学院博士課程奨学金
- 新潟大学学業成績優秀者奨学金 など

税法上の優遇措置

個人：税額控除と所得控除を
寄附者が選択
法人：全額損金に算入可能

新潟大学基金

目的

新潟大学の基盤整備、企業や地域社会との連携、研究活動支援、学生の厚生施設整備などを推進する事業を行います。

■寄附目的

●基金事業全般

（大学全体の支援、教育活動の支援、学生の修学支援、研究活動支援、国際交流活動支援、キャンパス整備支援、地域・社会貢献活動支援）

- 国際交流の推進
- 病院運営の支援

税法上の優遇措置

個人：所得控除
法人：全額損金に算入可能

～優秀な大学院生の研究を応援～

新潟大学研究等支援基金

令和4年
1月新設

目的

大学院に在学する学生のその専門とする分野に係る研究者としての能力及び資質の向上を主たる目的として、異分野の研究者との交流、その他の他の研究者又は実務経験を有する者との交流を促進する事業を行います。

■支援事業（支援事業を指定してのご寄附はできません。）

●新潟大学フェロシップ支援

（科学技術イノベーション創出に向けた大学フェロシップ創設事業）

目的：学生が産学官の広い分野で活躍できるように革新性・国際性を高める。

●未来のライフ・イノベーションを創出する フロントランナー育成プロジェクト （次世代研究者挑戦的研究プログラム）

目的：学生が実施する研究の融合性・学際性を高める。

税法上の優遇措置

個人：税額控除と所得控除を
寄附者が選択
法人：全額損金に算入可能

【基金ホームページ】 <https://www.niigata-u.ac.jp/university/donation/>

【お問い合わせ先】新潟大学サポーター連携推進室

TEL:025-262-5651・6010・6356（平日9:00～17:00）

E-mail:kikinjimu@adm.niigata-u.ac.jp

個人情報の取扱いについて

■新大広報では皆様からお預かりした個人情報につきまして、責任をもって管理することをお約束いたします。

■アンケートや誌面へのご意見、掲載希望他、お預かりした個人情報は新大広報の企画の参考にさせていただきます。この目的以外に使用したり、第三者に提供したりいたしません。

新大広報 Back Number

新大広報のバックナンバーは新潟大学ホームページで公開しています。

また、学務部学生支援課で受け取ることもできます。

新大広報

検索



Follow us!

新大広報公式
Twitter



新潟大学公式 SNS



Twitter



Instagram



Facebook

2022年 卒業記念号 [No.221]

2022年3月発行

編集・発行／新潟大学学務部・新潟大学広報室

印刷／㈱第一印刷所



この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

新潟大学ホームページ

<https://www.niigata-u.ac.jp/>